

熱海市伊豆山土石流災害
(名古屋市消防局提供)

災害対策委員 News とは
市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し役をお願いしている災害対策委員（区政協力委員が兼務）の皆様に、防災に関する情報をこの News で定期的にお届けいたします。

誰も取り残さない 風水害対策を

地域防災リーダー対象防災講演会を 動画で配信します

今年も地域防災活動に役立つ講演会を行います。
テーマは「風水害」と「土砂災害」です。素敵な講師をお迎え
します！ぜひご視聴ください。

講演①

気象キャスターから学ぶ風水
害への備え



山田 修作 氏

Profile

- ・メ〜テレ気象キャスター・気象予報士
アナウンサー
- ・メ〜テレ「アップ!」「ドデスカ!」出演中

講演②

熱海市伊豆山土石流災害と台
風15号豪雨から学ぶ
～被災者支援コーディネートの現場から～



鈴木 まり子 氏

Profile

- ・ファシリテーター
- ・被災者支援コーディネーター

日 時 令和5年9月9日（土）14:00～17:00

受講方法 YouTubeでの動画配信（講演終了後も視聴いただけます。）

URL <https://youtube.com/live/Nh2r05DK5lc?feature=share>

※会場受講申込受付は締め切りました。



＼そなえ・まい／の 『ナゴヤの防災!はじめよまい!!』 ～ 第2回 ～



はい！防災アイドル
「そなえ・まい」だよ。
今回紹介するのは、

「関東大震災」

地震の備えは大丈夫？

制作：
名古屋工学院
専門学校

名古屋市防災広報アンバサダー
そなえ・まい

今年は1923年（大正12年）に発生した関東大震災から100年の節目となります。関東大震災は死者・行方不明者推定10万5,000人で、明治以降の日本の地震被害としては最大規模の被害となっています。

名古屋市では、30年以内に70～80%の確率で南海トラフ巨大地震が発生するといわれているね。
この機会に、自宅の家具固定や耐震化について見なおしてみよう！！



耐震診断や耐震改修、
ブロック塀撤去の助成をしています

詳しくは市公式ウェブサイト
または住宅都市局耐震化支援室へ
TEL 972-2787

名古屋市 耐震化

検索





支援が必要な方の逃げ遅れを防ぐため 地域の防災リーダーの皆様を知っておいてほしいこと



高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、外国人

など、災害時、避難する際やその後の避難生活等において周囲の支援や配慮が必要となる方（**要配慮者**）は、災害が発生したときに必要な情報を把握したり、一人で避難したりすることが難しい場合があり、近年の災害においても多くの高齢者や障害者の方が犠牲になりました。

死者に占める
高齢者の割合

- ・東日本大震災・・・約65%
- ・令和元年台風19号・・・約65%
- ・令和2年7月豪雨・・・約79%

出典：平成 23 年版防災白書（内閣府）

令和元年台風第 19 号等を踏まえた高齢者等の避難のあり方について（最終とりまとめ）（内閣府）



令和 2 年 7 月の球磨川流域の豪雨により、浸水した要配慮者利用施設

災害時に犠牲者を出さないためには、**日ごろからの顔の見える関係**が大切です

豪雨により被害を受けた新潟県三条市でのエピソード

（前略）2011 年 7 月 29 日は、雨の降り方が異常でした。ただならぬ気配を感じた私は、自治会長とともに集落内の見回りを始めました。避難勧告が出たのはその直後です。高齢者などは避難に時間がかかることを自覚しており、率先して避難準備を始めました。住民皆が顔見知りで、だれが避難困難者なのかをお互いに知っており、情報交換ができたのは小さな集落ならではのようです。（中略）これだけスムーズに行動ができたのは、日ごろの近所づきあいと統制のとれた自治会活動のたまものと思っています。



出典：内閣府「一日前プロジェクトエピソード集」（一部加工）

地域において、要配慮者対策に取り組みましょう！

●地域で話し合おう

要配慮者の把握や、災害時の安否確認や避難誘導の方法などについて、地域の方々と話し合っておきましょう。



●顔の見える関係をつくろう

普段から顔見知りの関係ができていると、災害時の支援がスムーズに進みます。日頃から声をかけ合うことや、要配慮者と地域の人々が触れ合う機会をつくるのが重要です。

●訓練をしよう

要配慮者の避難を想定し、避難行動や避難所運営の訓練を実施しましょう。訓練には、要配慮者本人や家族にも参加してもらいましょう。



車椅子による搬送訓練

●過去に発行された「災害対策委員News」は、市公式ウェブサイトからご覧いただけます🔍

